

## 生涯学習課 本市を担う新成人を祝う 庄原市成人式

平成25年度庄原市成人式が8月15日、庄原市民会館で開催されました。今年の新成人は、平成5年4月2日から平成6年4月1日までに生れた市内在住者および庄原市出身者で、221人が出席しました。

はじめに、木山耕三市長が「ふるさととの絆、ふるさとに抱く誇りと愛着を、自らの人生のエネルギー、原動力にしていただきたい」と新成人を激励しました。



新成人の決意を述べる笹田峻真さん

新成人を代表して笹田峻真さん(川北町)が「私をはじめ庄原に住んでいる者が中心となり、庄原が今以上に良くなるために、微力ながらさまざまな取り組みをしていきたい」と決意を述べました。

成人式終了後には、実行委員会が主催する祝賀パーティーが行われ、出席者は懐かしい友人とそれぞれの近況や思い出を語り合いながら、楽しい時間を過ごしていました。



祝賀パーティーを楽しむ新成人

## 商工観光課 50周年を迎えた 比婆道後帝釈国定公園の魅力発信 「山たび」スタンプラリー・フォトコンテスト

市は比婆道後帝釈国定公園が今年で指定50周年となることを記念し、知名度アップや来訪者の増加を目的に、関係市町と連携して「山たびスタンプラリー」や「山たびフォトコンテスト」などの記念事業を7月24日から実施しています。

「山たびスタンプラリー」は、国定公園やその周辺の観光施設11カ所にスタンプを置き、スタンプを3種類以上集めると、抽選で食事券や宿泊券、地元特産品を進呈します。このスタンプラリーを楽しんでもらおうと、持ち歩き

■山たびスタンプラリー  
実施期間/11月20日(木)まで  
実施箇所/休暇村吾妻山ロッジ、ひろしま県民の森、すずらん湯、休暇村帝釈峡など県内外11カ所

■山たびフォトコンテスト  
作品規定/四つ切・四つ切ワイド・A4の単写真  
応募締め切り/11月10日(日)

■問い合わせ  
商工観光課観光振興係  
0824-73-1179



山たびスタンプラリー持ち歩き用パンフレット



山たびスタンプラリーのポスター

## 企画課 県・市のトップが本市の未来を語り合う 未来創造事業や地域医療などについて意見交換

湯崎英彦広島県知事と木山耕三庄原市長が意見交換を行う「未来創造フォーラムアップミーティング」(県・市町懇談会)が8月18日、市内で行われました。

当日は、4月12日にランドオープンした「道の駅たかの」や国登録有形文化財の「三楽荘」を視察。その後、三楽荘の離れ大広間を会場に、「道の駅たかの」を核とした高野地域における特産品開発や着地型観光などの取り組み(「未来創造事業」)、地域医療の確保・充実などについて、意見が交わされました。



現地視察の様子(道の駅たかの)

## 社会福祉課 不戦を誓い、恒久平和を願う 庄原市戦没者追悼式・平和祈念式典

戦没者に哀悼の意を表し、恒久平和を祈念する「庄原市戦没者追悼式並びに平和祈念式典」を8月21日、庄原市民会館で行いました。遺族をはじめ、来賓、一般の方、児童など、約600人が参列し、本市出身の戦没者2925人の冥福と平和を祈りました。

式典で木山耕三市長は「戦争を体験された方々は、思い出すことさえ苦痛で悲惨な戦争の記憶を、『次の世代には自分と同じ思いをさせたくない、戦争

は二度と繰り返してはならない」という使命感を持って語られています。今の平和な時代を生かされている私たちは、その真摯な姿勢と、強い意思をきちんと受け止め、この体験を引き継がなくてはなりません」と式辞を述べました。

続いて、参列者全員で黙禱、献花を行い、戦没者の冥福を祈りました。

追悼吟詠、八幡小学校児童の合唱、口和本の会による朗読、庄原中学校吹奏楽部による演奏も行われ、改めて平和の大切さを心に刻みました。



意見交換の様子(三楽荘)

## 保健医療課 庄原市休日診療センターに車いす 庄原ロータリークラブが寄贈

庄原市休日診療センターに8月4日、庄原ロータリークラブから車いす1台が寄贈されました。

庄原市休日診療センターでは、本年4月の診療開始以来、車いすを必要とする方はいませんでしたが、これからはそういった方が必要ときに安全にすばやく運べるようになりまます。

今後も安心して受診できる診療センターになるよう、安全向上に努めていきます。



庄原ロータリークラブの石原肇会長(左)から車いすを寄贈され喜ぶ児玉節医師



八幡小学校児童による合唱